

令和8年度

公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団

事業計画

1 事業計画の概要

令和8年度は、豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言、調布市若者の文化芸術活動及びスポーツ活動の応援に関する条例、調布市文化芸術推進ビジョンなどの趣旨を踏まえた取組を推進します。

とりわけ、調布駅前広場の完成に伴う調布駅周辺の新たなにぎわいが見込まれることを踏まえた取組、中学校部活動の地域連携・地域展開に向けた取組など、調布市との連携がますます重要になります。

このことを踏まえ、財団基本計画（令和元～10年度）の後期3年目である令和8年度は、地域の多様な主体との連携を基本に、年齢・性別・障害の有無・国籍・経済的な状況などにかかわらず、あらゆる市民に豊かな文化芸術体験や人と人とのつながりの場を提供できるよう、安心安全な施設運営、文化芸術・国際交流の推進、共生社会の充実に向けて、以下の視点で取り組みます。

第1に、事業運営では、誰もが参加できる創造・活動の場を目指し、ちょうふ彩咲祭をはじめとする地域コミュニティ活性化事業や美術振興事業、芸術振興事業において「パラハートちょうふ meets ART」の取組として、鑑賞サポートの充実のほか、障害者が主体的に参加し体験・発表する機会の充実に取り組みます。また、国際交流事業の発展に向けて、外国人が活躍、参加体験できる事業を実施するとともに、既存の芸術振興事業でも、国際的に活躍するアーティストの起用や、海外の劇団の招へい公演、国内外の若手音楽家たちと市民との交流などに取り組みます。美術、映像、音楽、演劇、古典芸能、国際交流などの各事業においては、講座や体験事業を通して生涯学習を推進するほか、地域の人材や教育機関等と連携し、次世代を担う若者や子どもたちの創造性を育みます。さらに、調布市が進めるグリーンホール機能との連動を含めた調布駅前広場の利活用に向けた取組に協力し、まちの魅力向上につなげます。あわせて、市内中学校の休日部活動の地域連携・地域展開に向けて、調布市と共に学校や地域の指導者と調整し、トライアル事業を実施します。

第2に、施設管理運営では、利用者の声に耳を傾け、可能な限り反映させることで、誰もが安心・安全で快適に利用できる施設運営を行います。調布市の公共施設全体での予約システムの改修や、施設の老朽化を踏まえて大規模改修などに向けた対応について市と協議しながら、たづくりでは外壁・屋上防水改修などの必要な取組を進めます。災害時における対応に関しては、発災時における多様な施設利用者や避難者を想定し、市や関係機関との連携の下、適切な準備と実践的な訓練を実施します。

第3に、組織運営では、文化芸術や国際交流、共生社会の充実を推進していくための専門的な知識を深めながら、市との連携、市民や地域、関連分野との連携を推進する総合的なスキルを備えたアートマネジメント人材の育成に取り組みます。また、法改正に適切に対応し、安心して働くことのできる環境づくりを推進するとともに、令和11年度からの次期基本計画策定に向けて、市民意識ニーズ調査（令和9年度実施予定）の準備を進めます。財務会計では、物価上昇等によるコスト高に見舞われている状況下で持続的・安定的な経営を図るため、固定費の抑制、多様な財源確保による収益力の強化に取り組みます。

2 事業内容

基本計画に基づき、各館のミッション・ビジョンの実現に向けて、各事業を実施します。共生社会の充実に向けた取組は、全事業を通じて組織横断的に展開します。

文化会館たづくり



多様な人材・団体による持続的な連携と協働

文化プラットフォームの形成と発展を通じて、文化芸術や国際交流のみならず、観光、まちづくり、福祉、教育、産業など関連分野における多様な人材・団体と持続的に連携・協働することで、ユニークで活力ある調布のまちをつくりまします。



まちの価値を高める文化施設

調布のまちには、古刹・深大寺、約40社もの映画・映像関連企業、水木マンガなど豊富な文化資源があります。これら文化資源を活用し、地域の多様な人材・団体との連携・協働の下、デジタル時代に対応した事業を展開することで、まちの価値を高める文化施設を目指します。

映像文化・メディア芸術事業

補助金事業（共催）／指定管理事業

市内の映画・映像関連企業及び団体や調布市と連携して実施することで、年間を通して映画・映像をつくるまちならではの独自性ある上映会やワークショップ、座学講座などを実施します。

●映画のまち調布 シネマフェスティバル2027

補助金事業（共催）

映画賞授賞式、映画制作の技術スタッフや監督によるトークショー付きの映画上映会のほか、上映作品に関連した小道具や設計資料、調布市立図書館所蔵の映画資料の展示や、プロの映画製作の技術スタッフが指導する撮影体験ワークショップなど、各種プログラムを展開します。



「ガメラ3」立像
©KADOKAWA TNH1999



映画のまち調布賞 授賞式



上映会トークイベント

ミッション
1

文化芸術の裾野拡大と普及

文化会館たづくりは、40以上の貸出施設で構成され、様々な文化芸術活動ができる複合施設です。この文化会館たづくりを中心に、誰もが学習や鑑賞の機会に触れ、親しむことができるよう、幅広く普及啓発事業に取り組みます。

ビジョン
1

誰もが自主的に活動できる文化施設

文化会館たづくりは、文化芸術の公演・展示に限らず、生活文化や国民娯楽など幅広い文化芸術活動ができる施設を有しています。これら施設の機能を最大限に生かした美術展示や学習講座等の事業を行うとともに、誰もがいきいきと自主的に文化芸術活動ができる文化施設を目指します。

美術振興事業

指定管理事業

調布市ゆかりの作家や新進作家による展示、親子で楽しめる企画展示のほか、美術に関するワークショップ、座学講座などを実施します。

また、展示室内で市内のアートやコミュニティに関する情報を収集・紹介するとともに、展示室がより地域に開かれた場所になることを目指した事業を展開します。

●テンジシツプロジェクト 企画展

3年間のプロジェクトの最終年度を迎える令和8年度は、これまで市内アーティスト、団体等と関係性を構築して収集した情報や、トークイベントの成果などを活かした企画展示を行います。



展示室



テンジシツプロジェクトトークセッション



子ども向け美術講座

生涯学習事業

指定管理事業

美術、映像、音楽、演劇、古典芸能などの各事業と連携した講座や施設の特色を生かした講座を展開します。文化芸術に触れるきっかけをつくとともに、学習から体験までをつなげることで受講生の学びを深めます。

ミッション
3

多様性と活気のある地域コミュニティの形成

人々のふれあい・交流の場をつくり、多様な文化や価値観を認め合い、共に生きる絆を深めることで、持続可能で活気あふれる地域コミュニティを形成します。

ビジョン
3

地域共生社会の基盤となる文化施設

国籍、年齢、障害の有無等にかかわらず、あらゆる人々が地域社会に参加できる機会をつくり、多文化・多世代の交流を促進することで、地域共生社会の基盤となる文化施設を目指します。

文化祭事業

補助金事業（共催）

市民の文化芸術の普及と文化芸術を通じた交流を図り、文化プラットフォームの形成を促進するため、調布市、調布市教育委員会及び調布市文化協会とともに、「第71回調布市民文化祭」を実施します。



調布市民文化祭



調布市民文化祭 文化フェスタ

地域コミュニティ活性化事業

補助金事業（共催・独自）

年齢・性別・障害の有無・国籍・経済的な状況などにかかわらず、様々な立場の市民が交流する機会と社会参加の機会をひらく場づくりのため、これまで築いてきた地域のコミュニティ、商店街、福祉・障害者団体、教育機関など、多彩な人材・団体との連携と協働を深めながら、文化芸術を介した人と人とのつながりの形成、コミュニティの創造と活性化に取り組みます。そのほか、市民が自主的に取り組むコミュニティ活動と連携していきます。

●ちょうふ彩咲祭（さいさいさい）

補助金事業（共催）

「だれもが笑顔」をキャッチコピーとし、市民及び市民団体による実行委員会形式で運営します。よさこいやキッズダンス、演奏などのステージパフォーマンス、アート系のワークショップ、パレードやディスコなどの参加企画を柱に構成します。また、彩咲祭につながる

通年企画として、市内学童クラブや福祉施設、児童養護施設の利用者を対象としたワークショッププログラムを実施します。

そのほか、これまでも協力開催している「調布市パラアート展」との連携や、人と人、人と地域のつながりを推進するコミュニティプログラムなど、誰もが参加できる創造・活動の場をつくります。

活動支援事業

補助金事業（独自）／指定管理事業

市民の自主的な地域・文化活動などが、円滑に充実して実施できるよう、テント、椅子、机、音響機器などイベント用品の貸出しを行います。

文化会館たづくりでは、団体用に保管ロッカー、印刷機器の貸出し、陶芸焼成設備を活用した作品焼成支援を実施します。そのほか、後援名義の使用承認により、市民活動を支援します。市民や団体とのコミュニケーションを通じて、市民活動の実情やニーズを共有し、連携して解決に取り組みます。

市民との連携事業（3施設共通）

補助金事業（独自）

誰もが生き生きと活躍できる地域コミュニティづくりを推進するため、他部署と連携してつくる多様な活動メニューを提供し、文化ボランティア「ちょうふアートサポーターズ（CAS）」個々の特性を生かすことができる活動になるようコーディネートします。

また、CASが持つ社会貢献への意欲と能力や経験を活かし、文化芸術を介した人と人とのつながりづくりに取り組みます。



ちょうふ彩咲祭



ちょうふアートサポーターズ活動

国際交流事業

補助金事業（独自）／受託事業

日本語学習の支援では、日本語でのコミュニケーション能力を高めることで、外国人が日本で円滑に生活していくことができるよう、日常生活に必要な日本語の学習機会の場を提供するなど、児童・生徒から大人まで様々な支援を行います。

生活支援では、自治体からの通知等が読めないなど、生活支援が必要な外国人に対して、ボランティア会員による翻訳サービスを提供します。また、行政手続の窓口や学校の三者面談の場に通訳ボランティアの派遣を行うなど、日本語が不自由な外国人への支援に取り組む

ほか、公益財団法人東京都つながり創生財団と連携し、専門家による外国人相談会を実施します。

交流事業では、多くの国や地域の人々と相互に理解し合い、信頼を深めることができるよう、「日本語で話そう会」や「ニューイヤーパーティー」を開催するほか、年間を通した連続プログラムから単発で開催するものまで、多様な事業を実施します。

多文化共生事業では、国や民族、文化の違いにかかわらず外国人も共に生活する住民という認識を深めるため、広く市民向けに国際理解のための講座を開催します。



日本語で話そう会



市内中学校講師派遣



ニューイヤーパーティー

ミッション
2

文化芸術の情報発信と提供の拠点

人々が集い、つながる文化会館づくりを拠点に、地域の文化芸術や生涯学習等に関する情報を積極的に収集・発信し、調布のまちの魅力を広くPRします。

ビジョン
2

関係づくりの拠点となる文化施設

対面によるコミュニケーション、広報紙等の紙媒体、ホームページ、SNSなど多様な手段を活用し、地域の文化芸術や生涯学習等に関する情報発信を多角的に行うことで、人と人がつながる、関係づくりの拠点となる文化施設を目指します。

広報・宣伝活動

補助金事業（独自）

広報活動では、誰もが必要な情報を受け取ることができるよう、内容の分かりやすさに比重を置くことはもとより、やさしい日本語やカラーユニバーサルデザインを取り入れた編集を行います。財団報「ぱれっと」では、市民に向けて財団事業を中心とした情報を構成した紙面づくりを行います。ウェブメディアにおいては、財団ホームページにおける課題抽出と改善を進めることで、利用者の利便性向上を図ります。また、SNSの速報性を重視し、情報発信数の増加を目指します。

宣伝活動では、各メディアへの情報提供（パブリシティ）を積極的に行い、対象を調布市内に留まらない広範囲に設定し、宣伝活動に努めます。

また、調布の文化芸術に関する文化プラットフォーム形成については、財団主催事業以外の情報を文化関係団体（教育機関、民間事業者など）から収集し、財団メールマガジンを活

用して調布の文化芸術情報を発信します。ブランディング活動としては、「映画のまち調布」の推進に寄与すべく、調布フィルムコミッションに協力し、映画やドラマなどの撮影支援を積極的に行います。また、市内学校等からの施設見学についても引き続き、積極的に受け入れます。

会員制度「ちょうふアートプラス」については、市内の無料会員を含めた会員数の増加を目指すとともに、賛助会員制度を新たに創設することで、財団事業の支援者の拡大を図ります。また、市外の有料会員の継続率向上により、収支面での安定化を図ります。



財団ホームページ



財団報「ぱれっと」

●BCJコンサート「英雄」と「レクイエム」～ベートーヴェンへの道～ 指定管理事業

令和9年度のベートーヴェン没後200年に向けて、ベートーヴェンの「英雄」交響曲と、ベートーヴェンの追悼ミサで演奏されたとされる、ケルビーニの「レクイエム」を演奏します。平成22年度にバッハ・コレギウム・ジャパンと協定を締結して以来、これまで協定事業を重ね、令和8年4月に実施する公開リハーサルで50回を迎え、地域に根差した世界的な演奏団体との連携をさらに推進します。

●インクルーシブダンス「グリーングリーンのはら」 指定管理事業

障害のある人もない人も、年間を通じてダンスのワークショップを行い、「ちょうふ彩咲祭」で成果を発表します。並行して、特別支援学校を含む市内の学校を対象にしたアウトリーチ事業やインリーチ事業を実施し、活動・体験の場を広げるとともに、東京芸術劇場など他施設・団体と連携して地域で活躍できるファシリテーター育成にも取り組みます。

●字幕・解説付き「能・狂言」公演 指定管理事業

令和6年度の「能・狂言」公演が好評であったことを踏まえ、能と狂言いずれも字幕付きで、誰もが楽しめる公演を実施します。これまでの事例や当事者との対話を通じて鑑賞サポートを充実させ、年齢、障害の有無等にかかわらず、劇場や伝統芸能に親しむことができる環境づくりを推進します。



調布国際音楽祭

(c)藤本崇



グリーングリーンのはら

写真提供 みんなのダンスフィールド



字幕・解説付き「能・狂言」公演

調布駅前広場の利活用

受託事業

調布市では、調布駅前広場の利活用について、週末を中心に多くの方でにぎわい、市民や来訪者が楽しみ、親しみを持ち、何度も訪れたいくなるような魅力的で活気ある空間の創出を目指した取組を進めています。これに協力し、調布市や地域団体と共に、円滑なイベント実施の支援や、グリーンホール機能と連動した多彩なイベント実施の促進に取り組みます。

<p>ミッション 1</p>	<p>地域全体に向けた舞台芸術活動の展開 小劇場であるせながわ劇場の特色を生かし、新たな舞台芸術の制作に取り組みながら、地域全体を劇場のステージと捉え、誰もが舞台芸術活動に参加できる機会をつくります。</p>
<p>ミッション 2</p>	<p>次世代を担う実演家の育成 豊かな人間性と感性を育む舞台芸術を継承し、発展させていくため、せながわ劇場の特色を生かした様々な人材育成・普及啓発事業を展開し、次世代を担う実演家を育成します。</p>
<p>ビジョン 1</p>	<p>地域の中で息づく劇場 芸術監督による演劇制作を起点に、舞台芸術の活性化を図りながら、せながわ劇場から輩出された人材が、学校や福祉施設をはじめ、ニーズに応じて地域全体に出向き、交流を深めることで、地域の中で息づく劇場を目指します。</p>
<p>ビジョン 2</p>	<p>持続的に発展する劇場 せながわ劇場に固有の人材育成の枠組みを推進するとともに、普及啓発のための公演やワークショップを幅広く実施することで、舞台芸術を次世代へ継承し、持続的に発展する劇場を目指します。</p>

芸術振興事業

指定管理事業／受託事業

芸術監督演出による芸術・創造性の高い本格的な演劇公演のほか、第16回を迎える「せながわ劇場演劇コンクール」では、将来的に劇場の公演事業を担う人材を発掘し、DEL（デル）¹の様々な活動を通じて、長期的視点で人材育成に取り組みます。普及啓発事業では、劇場に来ることができない市民が舞台芸術に触れる機会とするため、仙川地域にとどまらず、市内の学校、福祉施設などでアウトリーチ事業を実施するほか、地域の大学と連携し、劇場の特徴を生かした演劇に関する講座を実施します。

また、各事業実施の際は、ライフスタイルに応じて、市民一人ひとりが、安心して気軽に参加できるよう、保育サービス、音声ガイドや字幕掲出、仙川駅から劇場までの誘導、配慮が必要な子どもや障害のある子どもとその保護者が安心して楽しめる公演など多様な鑑賞サポートを実施します。

●芸術監督公演「雲のビール」

芸術監督就任3年目となる本公演は、DEL（デル）のメンバーで評伝劇を得意とする脚本家がチェコ共和国初代大統領を題材に脚本を執筆します。芸術監督自らの演出による良質な演劇作品を創作・上演し、せながわ劇場が演劇文化の創造・発信拠点となることを目指します。

¹ DEL（デル）とは、主に演劇コンクールの出場者で構成される舞台芸術家グループ

●せんがわディレクターズセレクション「源氏物語」

ディバイジング²の演劇手法を用いた独自の作品創作で活躍するDEL（デル）のメンバーが演出、振付を担当し、気鋭の若手ダンサーを中心に全キャストを女性で構成した作品を上演します。関連企画として、令和7年度に相互協力提携に関する協定を締結した白百合女子大学と連携した生涯学習講座も開講し、作品を多角的に楽しむ機会を創出します。

●おらほせんがわ夏まつり 親子向けミニシアター

児童演劇分野において国際的に活躍しているポーランドの劇団を招へいし、世代を問わず楽しめるノンバーバル³作品を上演します。海外の質の高い作品との出会いと海外アーティストとの交流を通じて、子どもたちの感性や想像力を育みながら、次世代を担う子どもたちの心豊かな成長につながる事業を実施します。

●部活動の支援

市内中学校演劇部へのアウトリーチを実施し、アーティストとの交流を通して演劇創作のプロセスを共有します。部活動を支援する地域モデルとして、文化芸術教育の継続的な担い手づくりにもつなげる取組を推進します。



DEL（デル）認定プログラム



おらほせんがわ親子向けミニシアター



稽古場見学
部活動の地域連携・地域展開

² ディバイジングとは、脚本をもとに演出家が創作する従来の演劇創作とは異なり、参加者全員でアイデアを出し合い、即興や協働作業を通じて作品を創作する演劇手法

³ ノンバーバル作品とは、セリフや言語を使わずに、身体表現、表情、音楽、光などの視覚効果だけで物語や感情を伝える作品

3 施設共通



利用者の声を反映させた施設づくり

アンケートや窓口対応など多様な手段を通じて、利用者の声に耳を傾け、可能な限り反映させることで、誰もがアクセスでき、参加しやすい施設をつくります。



施設の長寿命化とライフサイクルコストの縮減

少子高齢化等の社会変化により、今後ますます財政支出の縮減と平準化が求められます。適切な維持管理による施設の長寿命化と、徹底的な省エネルギー化等により、ライフサイクルコストの縮減に取り組みます。



人々が安心して集う施設

利用者の様々な意見をもとに、施設設備のバリアフリーや、障害者対応・多言語対応などアクセシビリティ向上に加え、災害時の備えを充実させることで、人々が安心して集う施設を目指します。



効率的で持続可能な施設

E S C O事業をはじめ、公民連携手法を取り入れた施設改修・維持管理を推進し、脱炭素社会を見据えた省エネルギー化に取り組むことで、効率的で持続可能な施設を目指します。

施設管理運営

指定管理事業／受託事業

人々が自然に寄り集い、安心・安全はもとより快適に利用できる施設となるよう、窓口やアンケートなどを通じて寄せられる様々な意見をくみ取り、可能な限り利用者の声を反映させます。

また、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律や調布市の計画に基づき、バリアフリーを推進し、誰もがアクセスでき、参加しやすい施設運営に取り組みます。

施設のライフサイクルコスト縮減のため、空調・照明設備の運用を随時検証し、省エネルギー化を推進するとともに、設備の劣化状況を踏まえ、部品交換等を適切に実施することで、建物全体の長寿命化を図ります。

利用者が気軽に文化芸術に触れる機会とするため、文化会館たづくりにおいて、エレベーターホール・アートプロジェクトを行うほか、くすのきホールでのピアノ体験事業を実施します。

貸館事業においては、適切な予約管理を行うことで市民への効率的な貸出しに努めます。



設備点検



バリアフリー推進(トイレ自動ドア設置)



エレベーターホール・アートプロジェクト

防火・防災

災害対応については、災害時における調布市の対応への協力に関する基本協定に基づき、施設・設備を活用しながら、円滑な避難所運営等ができるよう市と連携して対策を進めます。

また、基本的な安全確認、避難誘導及び初期消火訓練などに加えて、避難所運営や自衛消防活動において、配慮が必要な方々に適切に対応できるよう、取組を推進します。

組織運営

人材育成

豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言や市の総合計画など基本的な施策を踏まえた事業展開をしていくため、調布市と緊密に連携しながら人材育成を推進します。

目標管理型人事評価制度やメンター制度を活用し、職員一人ひとりの意欲・やりがいの向上と組織の活性化を図ります。

文化芸術や共生社会に関する知識・スキルを深める専門研修を戦略的かつ段階的に実施し、各館の実状にあった人材育成を行うとともに、社会変化に適切に対応し、市民や地域、関連分野との連携を推進する総合的なスキルを備えたアートマネジメント人材を育成するため、職層別による外部研修やeラーニングに継続して取り組み、組織力・人材力を強化します。

自主財源の拡充

自主財源の拡充に向け、引き続き、国や地方公共団体、各種団体の助成金の獲得に積極的に努めます。

また、寄附・協賛金の募集については、「事業への共感と賛同」を主眼とします。企業や個人に対し、財団が事業を通して目指す目的や目標を共有し、共に実現していく手段のひとつとして位置づけます。単なる資金提供ではなく、事業への深い共感と賛同に基づくパートナーシップの構築に重点をおき、戦略的に取り組みます。



外部支援員研修



当財団の活動は、皆さまの温かいご支援によって支えられています

当財団は、文化会館づくり、グリーンホール、せんがわ劇場の3館の管理運営を行いながら、さまざまな分野の事業を展開しています。調布市における文化芸術の振興、国際交流の推進及び地域コミュニティの活性化等を目的とした取組みを継続・発展させていくために、寄附という形でのご協力をお願いしております。皆さまからいただいたご寄附は、事業の活動資金として大切に活用させていただきます。今後も事業のさらなる充実によって、誰もが文化芸術に親しみ、創造することができる環境づくりに取り組んでまいります。私たちの思いに共感いただけましたら、ぜひご支援を賜りますようお願い申し上げます。

公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団
理事長 榎 正樹

財団寄附ホームページ

3 実施事業の内容

※ 事業区分について

- 補助金事業（共催） 当財団が市と共に実施する事業
- 補助金事業（独自） 当財団が独自で実施する事業
- 指定管理事業 当財団が指定管理者として実施する事業
- 受託事業 当財団が市から受託する事業

(1) 補助金事業（共催事業・独自事業・受託事業）

ア 映像文化・メディア芸術事業（公1-1）

定款第4条	(1) 文化芸術の振興事業、(8) その他		
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)
映画のまち調布 シネマフェスティ バル (共催)	<p>【目的】 「映画のまち調布」を推進するため、市における映画の歴史及び映像文化に親しむ機会を提供し、地元で根ざした文化芸術の振興を図る。</p> <p>【内容】 開催に先立ち募集する「日本映画人気投票」により、本祭での主な上映作品と映画賞「映画のまち調布賞」の作品賞及び技術賞5部門のノミネート作品を決定する。本祭期間中は映画賞授賞式、映画制作の技術スタッフや監督によるトークショー付きの映画上映会のほか、上映作品に関連した小道具や設計資料、調布市立図書館所蔵の映画資料の展示や、プロの映画製作の技術スタッフが指導する撮影体験ワークショップ等、各種イベントを開催する。</p> <p>また、開催期間前に実施する活動弁士・生演奏付きの上映会、メディア芸術の要素を取り入れたワークショップ等に関連企画とすることで、年間を通して事業を展開し、映画・映像文化に触れる機会を創出する。</p> <p>【費用】 前売800円 当日1,000円 U29 500円（一部展示などのイベントは無料）</p> <p>【8年度予定】 映画のまち調布 シネマフェスティバル2027</p> <p>【会場】 文化会館たづくり、グリーンホール ほか</p> <p>【集客戦略】 年間を通して市内の映画・映像関連企業・団体や調布市との連携をさらに深めるとともに、他市映画祭やイベントとのPR面での相互協力を行うことで、新規来場者の獲得を目指す。</p>	1回	24,644

イ 文化祭事業（公1-4）

定款第4条	(1) 文化芸術の振興事業、(4) 生涯学習事業、(8) その他		
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)
調布市民文化祭 (共催)	<p>【目的】 市民の芸術、芸能、生活文化（茶道、華道、書道、その他の生活に係る文化）活動の振興及びこれを通じた文化交流や地域の振興を図る。</p> <p>【内容】 文化会館たづくりやグリーンホールを会場に、いけばなや工芸美術などの展覧・展示会、囲碁、将棋、演劇、民謡、歌謡などの大会・発表の場として開催する。調布市、調布市教育委員会、調布市文化協会及び当財団による四者主催で実施する。</p>	1回	4,625

	<p>開催時期に合わせて、文化祭事業をアピールする文化フェスタを実施する。</p> <p>【費用】 参加者：出品、出演に一部費用負担あり 観覧者：無料</p> <p>【8年度予定】 第71回調布市民文化祭</p> <p>【会場】 文化会館たづくり、グリーンホール ほか</p>	
--	--	--

ウ 地域コミュニティ活性化事業（公1-5）

定款第4条	(3) コミュニティ活動の振興事業、(8) その他	回数等	予算額(千円)
事業名	目的・内容等		
ちょうふ彩咲祭 (共催)	<p>【目的】 市民による地域コミュニティ活動、交流の活性化を図る。</p> <p>【内容】 ファミリー層を中心に、障害の有無や年齢、国籍の違いを超えて誰もが楽しめる（インクルーシブな）、アートを切り口としたまつりを開催する。「よさこいを含むステージ発表」「ワークショップ体験」「飲食などの出店」「誰もが参加できる企画」を主な軸として展開する。</p> <p>よさこいに関しては、年間を通じて、楽曲や鳴子などの提供、振付講師の派遣を行う。そのほか、出張パフォーマンスや市内施設でのワークショップを行うなど、より多くの多様な市民が参加しやすくなるよう努める。</p> <p>事業全体を通して、福祉・障害者団体や商店街など地域に根差した活動をしている団体や組織との連携を深めながら、まちの活性化に取り組む。障害者や外国人に向けたアクセシビリティを向上させ、誰もが参加しやすい内容にするほか、調布市と共に「パラハートちょうふmeets ART」についての周知を図り、共生社会の充実に向けた取り組みを進める。</p> <p>また、彩咲祭につながる通年企画として、市内学童クラブや福祉施設、養護施設などの利用者を対象としたワークショッププログラムを実施する。</p> <p>【費用】 無料（一部費用負担あり）</p> <p>【8年度予定】 よさこい踊りの演舞披露、キッズダンスや演奏などのステージ企画の実施。 楽曲や鳴子などの提供 振付講師の派遣 市内各イベントでの出張パフォーマンス フォトコンテスト 調布市パラアート展との連携</p> <p>【会場】 市内各所</p>	通年	10,368
その他 (独自)	<p>【目的】 地域の振興と市民の活動、交流の活性化を図る。</p> <p>【内容】 自治会、地区協議会主催の地域交流イベントなど、市民の地域における主体的な活動への助言、参画、実状に合わせた環境づくり、サポートを必要とする活動の掘り起こしに努める。</p> <p>【費用】</p>	通年	79

	無料 【8年度予定】 地域交流イベント コミュニティ・プログラム 【会場】 市内各所		
--	---	--	--

エ 活動支援事業（公1-6）

定款第4条	（5）文化芸術、国際交流、コミュニティ、生涯学習事業への援助、（8）その他		
事業名	目的・内容等	回数等	予算額（千円）
市民団体支援 （独自）	【目的】 市民の主体的、自主的な地域活動、芸術、芸能、生活文化活動等が円滑に充実して実施できるようサポートし、振興を図る。 【内容】 テント、椅子、机、音響機器等のイベント運営機器、機材の貸出しを行う。市民の自主的な活動を後援し、また芸術・文化団体の高度な活動を支援する。 【費用】 無料 【8年度予定】 コミュニティ用具の貸出：70件程度 後援及び活動支援：20件程度 【会場】 市内各所	通年	1,004

オ 市民との連携事業（公1-7）

定款第4条	（5）文化芸術、国際交流、コミュニティ、生涯学習事業への援助、（8）その他		
事業名	目的・内容等	回数等	予算額（千円）
ちょうふアートサポーターズ （独自）	【目的】 当財団が主催・提携する事業にボランティアとして参加することで、芸術・文化の振興、コミュニティの形成と活性化を推進する。 【内容】 文化ボランティア組織「ちょうふアートサポーターズ（CAS）」に市民を募集する。誰もが生き生きと活躍できる地域コミュニティづくりを推進するため、他部署と連携して作る多様な活動メニューを提供し、CAS個々の特性を生かすことができる活動になるようコーディネートする。 また、メンバーが持つ社会貢献への意欲とスキルや経験を活かし、文化芸術を介した人と人とのつながりづくりに取り組む。 【費用】 無料 【8年度予定】 調布国際音楽祭2026 映画のまち調布 シネマフェスティバル2027 ちょうふ彩映祭2026 その他財団主催文化芸術事業 リンクワーカーに関するプログラム調査・開発 【会場】 文化会館たづくり、グリーンホール、せんがわ劇場ほか	200回	419

カ 芸術振興事業（公1-8）

定款第4条	（1）文化芸術の振興事業、（4）生涯学習事業、（8）その他
-------	-------------------------------

事業名	目的・内容等	回数等	予算額（千円）
音楽祭事業 (共催)	<p>【目的】 市民が身近で気軽に良質な音楽事業に触れる機会を提供し、文化芸術の普及、振興を行う。 鑑賞及び市民参加型の事業を通じて「音楽のあるまち」を推進するとともに、次世代の育成、市民の交流、地域の活性化を促進する。</p> <p>【内容】 鑑賞を主とするプログラムでは、幼少期から音楽に親しめる親子向けコンサート、世界的なアーティストのコンサートやオペラまで幅広い内容を実施するとともに、鑑賞者の手引きとなるワークショップなどを実施する。 市民参加型プログラムでは、次世代の舞台芸術活動者への活動機会の場として、若手演奏者がトップレベルの奏者の指導を受けながら共演するオーケストラ公演や市内の音楽大学生による公演を実施する。さらに、市内音楽愛好家や市内サポート事業者、ちょうふアートサポーターズ（文化ボランティア）、市民・地域と連携して運営する。</p> <p>【費用】 参加費は実費負担、鑑賞公演は、収支バランスに見合った参加しやすい価格設定とするほか、無料公演を設定する。</p> <p>【8年度予定】 調布国際音楽祭2026</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞を主とするプログラム 室内楽公演 オペラ公演（演奏会形式） 子ども向け公演（体験型含む） 作曲トークイベント ・市民参加型プログラム フェスティバルオーケストラ公演（公募制） 市内音楽愛好家による公演（公募制） 市内音楽大学生による公演 ほか <p>【会場】 グリーンホール、文化会館たづくり、せんがわ劇場、深大寺、布多天神社 ほか</p> <p>【集客戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の名所や店舗で開催するサテライトコンサートを増やし、鑑賞の機会を創出する。 ・障害者や外国人に向けたアクセシビリティを向上させ、誰もが参加しやすい内容にする。 ・プロデューサーや出演者などのインフルエンサーへ情報発信を依頼し、潜在層にも伝わりやすいPR手段を取り入れ、注目度を高める。 ・知名度のある出演者を起用し、親しみやすいプログラムでクラシック音楽初心者から気軽に楽しめるようにする。 ・協定事業を実施している団体と連携を図り、幅広い層の集客に努める。 ・公演ごとに対象となる客層に合わせた広告媒体を活用するとともに、クラシック音楽以外の媒体とも連携しながら計画的な広報により宣伝効果を高める。 ・子どもたちを公演に招待する「ジュニア招待」や海外からの学生受入れによる国際交流、安定化と拡充を目的として、個人に対する寄附付きチケット、スポンサーシートの販売のほか、企業・団体への協賛募集の取組を強化し、支援を広げる。 	1回	53,609

キ 国際交流事業 外国人支援事業（公2-1）

定款第4条 (2) 国際交流事業			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)
日本語学習支援 (独自) (受託)	<p>【目的】 外国人支援の推進</p> <p>【内容】 日本語でのコミュニケーション能力を高めるため、日常生活に必要な日本語の学習機会を提供するなど、日本で円滑に生活していけるよう、児童・生徒から大人まで様々な支援を行う。</p> <p>【費用】 無料（成人を対象にした日本語教室のみ1年経過後1回200円）</p> <p>【8年度予定】 成人を対象にした日本語教室 市立学校日本語指導教室 子育て中の親の日本語教室（だっこらっこらぶ）</p> <p>【会場】 文化会館たづくり、教育会館 ほか</p>	通年	1,701
外国人の生活支援 (独自) (受託)	<p>【目的】 外国人支援の推進</p> <p>【内容】 自治体等からのお知らせが読めない、あるいは子どもの通学先からの手紙が理解できない外国人に対し、ボランティア会員による翻訳サービスを提供する。また、行政手続の窓口や学校の三者面談の場に、通訳ボランティアの派遣を行うなど、日本語が不自由な外国人への支援を行う。</p> <p>外国人市民が地域で安心して暮らしていけるよう、様々な相談の一次受付を行い、専門機関等につなげる。さらに公益財団法人東京都つながり創生財団と連携し、専門家による外国人相談会を調布市の受託事業として実施する。</p> <p>【費用】 無料</p> <p>【8年度予定】 通訳・翻訳の実施 外国人の生活相談窓口の紹介 外国人のための専門家相談会</p> <p>【会場】 文化会館たづくり ほか</p>	通年	

ク 国際交流事業 国際理解・交流事業（公2-2）

定款第4条 (2) 国際交流事業			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)
交流事業 (独自)	<p>【目的】 国際理解と国際交流の推進</p> <p>【内容】 多くの国や地域の人々と相互に理解し合い、信頼を深めることができるよう、年間を通じた連続プログラムから単発で開催するものまで、特色ある多様な交流事業の企画・運営を行う。</p> <p>【費用】 参加費は実費相当額とする。</p> <p>【8年度予定】</p>	通年	1,183

	<ul style="list-style-type: none"> ・交流サロン 日本文化紹介事業 ・日本語で話そう会 ・野外行事 ちょうふ彩咲祭への参加 調布市民駅伝競走大会への参加 ・文化交流活動 日本料理・外国料理を楽しむ会 ポットラックパーティー ニューイヤーパーティー2027 交流バスツアー 青少年ステーションCAPS事業への協力 調布市生涯学習事業への参加 <p>【会場】 文化会館たづくり ほか</p>		
多文化共生事業 (独自)	<p>【目的】 多文化共生の地域づくりやそれを支える人材の育成</p> <p>【内容】 広く市民向けに国際理解のための講座を開催する。 国や民族、文化の違いにかかわらず外国人も共に生活する住民という認識を深めるとともに、来訪者への「おもてなしの心」を学ぶなど、多文化共生の視点に立った事業を実施する。</p> <p>【費用】 無料</p> <p>【8年度予定】 国際理解講座 市内の小中学校への外国人派遣</p> <p>【会場】 文化会館たづくり ほか</p>	3回	

ケ 国際交流事業 国際交流センター運営事業（公2-3）

定款第4条 (2) 国際交流事業			
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)
部会活動 (独自)	<p>【目的】 多文化共生の地域づくりやそれを支える人材の育成</p> <p>【内容】 ボランティア会員で運営する日本語教室部会、交流サロン部会、子ども日本語教室部会及びだっこらっこクラブの4部会等を設置し、様々な事業や活動の企画・運営を行い、ボランティアの研修会やボランティア会員と学習者の交流会などを実施する。</p> <p>【費用】 無料</p> <p>【8年度予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全部会共通 ボランティア説明会 ・日本語教室部会 日本語ボランティア同士のフリートーク（2回） 日本語ボランティア入門講座 秋の「勉強会」 日本語教授法フォローアップ講座 ボランティアと学習者との交流会 ・交流サロン部会 ボランティア研修会 ・子ども日本語教室部会 ボランティア研修会（年3回） 	通年	1,820

	<ul style="list-style-type: none"> ・進路相談等の支援 ボランティア勉強会 お楽しみ会、遠足 【会場】 文化会館たづくり ほか 		
--	---	--	--

コ 広報宣伝活動（公1-9）

定款第4条	(6) 文化芸術、国際交流、コミュニティ、生涯学習事業に関する情報の収集及び提供、(8) その他		
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)
広報活動 (独自)	<p>【目的】 市内の文化芸術に関する情報を包括的に担い、調布市全域の文化芸術の振興に寄与する。</p> <p>【内容】 財団事業や施設利用者の発表会・展示の情報など、市内の文化芸術に関する情報全般を紹介するものとして、月刊広報紙『財団報ばれっと』を作成する。市内戸別配布のほか、文化会館たづくり、グリーンホール、せんがわ劇場、その他市内公共施設で配布する。 また、財団ホームページやSNSをはじめとするウェブメディアやFM放送などを活用し、いつでも誰でも情報にアクセスできる環境を維持する。音声データに変換しやすいテキスト版財団報などウェブアクセシビリティを踏まえたページ作成と利用者の利便性向上を図り、時代に即した広報活動を行う。</p> <p>【8年度予定】 財団報ばれっと 年12回 ホームページ、SNS、FM放送での情報発信 メールマガジンの発行 ホームページウェブアクセシビリティの向上</p>	通年	31,292
宣伝活動 (独自)	<p>【目的】 財団事業について効果的・効率的なプロモーションを展開し、より多くの人の参加を促す。</p> <p>・事業宣伝</p> <p>【内容】 チラシ配布のほか、新聞（広告・情報欄）雑誌、フリーペーパーなど紙メディアへの掲載に加え、SNS展開など、幅広いメディアを活用したアプローチを展開する。</p>	通年	946
	<p>・コミュニケーション活動</p> <p>【内容】 各事業において文化芸術分野に関連する団体等と有機的に連携するための渉外活動を担う。 また、市内の文化芸術イベント情報や、地域性、公共性の高い情報をSNSやメールマガジンなどで定期的に発信する。</p> <p>【8年度予定】 市内を中心とした文化団体と情報発信について相互協力を図っていく。</p>	通年	-
	<p>・ブランディング活動（映像収録サポート、施設見学）</p> <p>【内容】 「映画のまち調布」を推進発展させる一助として、施設内での映画・ドラマ等収録への撮影支援を行う。 また、市内学校を中心とした施設見学の対応を行う。</p> <p>【8年度予定】 館内での撮影支援体制の整備 市内学校の施設見学対応</p>	通年	-

会員制度 (独自)	<p>【目的】 文化芸術の友の会制度（ちょうふアートプラス等）により、市民が文化芸術に触れる機会・環境を得ることをサポートする。</p> <p>【内容】 割引サービスや附属サービスを充実させることで、財団事業を中心とした文化芸術に触れる機会を恒常的に提供する。</p> <p>【8年度予定】 ・ちょうふアートプラス会員制度の周知とサービスの充実による会員満足度の向上 ・市外有料会員の定着率向上を図る方策の検討 ・財団事業のファンを増やし、会員組織の充実を図るための賛助会員制度の創設。</p>	通年	394
--------------	---	----	-----

(2) 文化会館たづくり事業（指定管理事業・受託事業）

ア 映像文化・メディア芸術事業（公1-1）

定款第4条 事業名	(1) 文化芸術の振興事業、(8) その他 目的・内容等	回数等	予算額(千円)
ユニバーサル上映会 (映画のまち調布 シネマフェスティ バル関連企画)	<p>【目的】 「映画のまち調布」を推進するため、市における映画の歴史及び映像文化に親しむ機会を提供し、地元根ざした文化芸術の振興を図る。また、多様な文化的背景をもつ人が、互いの価値を理解するきっかけをつくることを目的とする。</p> <p>【内容】 映画を字幕付きで上映し、上映後には、字幕や手話通訳等を付けたトークイベントを実施する。また、関連したワークショップも実施する。</p> <p>【費用】 前売800円 当日1,000円 U29 500円</p> <p>【会場】 くすのきホール（文化会館たづくり2階）</p> <p>【集客戦略】 「映画のまち調布 シネマフェスティバル」の関連企画として実施し、相乗効果のある広報を行うことで、より多くの来場者の獲得を目指す。</p>	1事業	847

イ 美術振興事業（公1-2）

定款第4条 事業名	(1) 文化芸術の振興事業、(4) 生涯学習事業、(8) その他 目的・内容等	回数等	予算額(千円)
美術振興展示	<p>【目的】 年間を通して様々な展示や美術関連企画を行い、市民が美術に触れ、文化芸術への関心や理解を深めることを目的とする。</p> <p>【内容】 調布ゆかりの作家や新進気鋭のアーティスト等の展覧会を開催するとともに、ワークショップや座学、講演会を行い、作品の理解を深める機会や調布における文化芸術について考える機会を提供する。</p> <p>【費用】 無料（一部ワークショップは材料費等の徴収あり）</p> <p>【8年度予定】 中川平一展 調布の四季と60年（調布市教育委員会共催） 調布市武者小路実篤記念館移動展 実篤没後50年「若松英輔コレクションに見る 武者小路実篤・美とことばの宇宙」</p>	14事業	17,200

	kata kata展（仮称） テンジシツプロジェクト企画展（仮称） 子ども向け絵本展（仮称） リトルギャラリー作品展（6回） フィルム缶にアート！体験キットの貸出し（通年） 水木しげる氏が描いた漫画や妖怪画等の紹介展示（通年） 【会場】 展示室（文化会館たづくり1階） ゲゲゲギャラリー（文化会館たづくり1階） エントランスステージ（文化会館たづくり1階） リトルギャラリー（文化会館たづくり9階） 調布駅前広場（予定） 【集客戦略】 ・SNS専用アカウントを利用した情報の拡散。 ・若い世代向けに、インターネット等での有料広告を使った宣伝を行う。 ・子ども・若者向けの展示や市内作家の展示に当たっては、市内のアートコミュニティや子育て団体のネットワークを利用した宣伝を行う。 ・多言語対応、やさしい日本語を使った広報を展開し、外国人も来場しやすい環境を整える。	
--	---	--

ウ 生涯学習事業（公1-3）

定款第4条	(1) 文化芸術の振興事業、(4) 生涯学習事業、(8) その他	回数等	予算額（千円）
事業名	目的・内容等		
生涯学習事業	【目的】 文化芸術の学習の場を提供し、市民自らが文化を創造する契機とすることで、調布市における文化芸術の振興を図る。 【内容】 美術、映像、音楽、演劇、古典芸能など、市民が文化芸術の教養を深める機会となる場を提供する。当財団の他の事業と連携した講座を実施するほか、財団施設を活用した実技講座を企画する。 【費用】 講師謝礼及び材料費等の実費 【8年度予定】 期間：通年 講座分野：美術、映像、音楽、演劇、古典芸能などの座学、ワークショップ、講演会 【会場】 文化会館たづくり、グリーンホール、せんがわ劇場 【集客戦略】 ・イベント情報サイトやSNSなどを活用した広報の強化。 ・申込方法や支払い方法の統一化、簡略化を検討し、より受講しやすい体制を整える。 ・他事業や大学と連携し、市民の様々なニーズに合わせた企画や宣伝を工夫する。	20講座	-

エ 活動支援事業（公1-6）

定款第4条	(1) 文化芸術の振興事業、(4) 生涯学習事業、(8) その他	回数等	予算額（千円）
事業名	目的・内容等		
市民団体支援 （サークルロッカー等の貸出し）	【目的】 市民の主体的、自主的な地域活動、芸術、芸能、生活文化活動等を支援し、活性化を推進する。		

	<p>【内容】 文化会館たづくり・グリーンホール施設利用団体向けにサークルロッカー等の貸出しを行う。</p> <p>【費用】 無料</p> <p>【8年度予定】 第16期（～令和9年度末）</p>	通年	15
市民団体支援（印刷機貸出し）	<p>【目的】 市民の主体的、自主的な地域活動、芸術、芸能、生活文化活動等を支援し、活性化を推進する。</p> <p>【内容】 文化会館たづくり・グリーンホール施設利用団体等に印刷機講習会を行い、印刷機の貸出しを行う。</p> <p>【費用】 印刷機講習会及び印刷機利用とも無料 製版のみ1枚につき100円</p> <p>【8年度予定】 印刷機講習会の実施（毎月1回）及び貸出し</p> <p>【会場】 印刷室（文化会館たづくり11階）</p>	通年	732
焼成支援	<p>【目的】 市民の主体的、自主的な地域活動、芸術、芸能、生活文化活動等を支援し、活性化を推進する。</p> <p>【内容】 陶芸作品の素焼き、釉（ゆ）掛け、本焼きを行う。</p> <p>【費用】 作品のサイズにより異なる。</p> <p>【8年度予定】 2回実施</p> <p>【会場】 作品受付：財団管理事務室前（文化会館たづくり7階） 施釉（せゆう）：第2創作室（文化会館たづくり11階） 焼成：陶窯室（文化会館たづくり地下1階）</p>	2回	166

オ 芸術振興事業（公1-8）

定款第4条 事業名	(1)文化芸術の振興事業、(4)生涯学習事業、(8)その他 目的・内容等	回数等	予算額(千円)
音楽事業	<p>【目的】 市民が身近で気軽に良質な音楽事業に触れる機会を提供し、文化芸術の普及、振興を行う。</p> <p>【内容】 多彩で良質な事業を実施し、親しみやすく、誰もが文化芸術に触れることができる場を提供する。また、共生社会の充実のため、子どものうちから障害者とともに舞台芸術に触れることができる事業を実施する。 音楽分野で市民が文化芸術の教養を深める機会となる場を提供する。</p> <p>【費用】 入場料は参加しやすい価格設定とする。 小さな小さな音楽会は無料とする。</p> <p>【8年度予定】 室内楽 ファミリーコンサート 小さな小さな音楽会（2回） 音楽レクチャー</p>	4事業	3,859

	<p>【会場】 くすのきホール（文化会館たづくり2階）ほか</p> <p>【集客戦略】 ・地域人材とのつながりも意識しながら、幅広い層の集客に努める。 ・障害者向けの鑑賞サポート機器を導入し、より開かれた身近な会館であることを示す。 ・参加型事業を通して、市民が関心を寄せ、共に育む劇場づくりを目指す。</p>		
演劇舞踊古典事業	<p>【目的】 市民が身近で気軽に良質な演劇舞踊古典事業に触れる機会を提供し、文化芸術の普及、振興を行う。</p> <p>【内容】 感性や想像力、表現力など、子どもたちの幅広い能力の育成とアーティストとの出会いの機会を創出する。また、調布の特色を生かし、誰もが参加しやすい鑑賞公演を実施する。</p> <p>【費用】 入場料は参加しやすい価格設定とする。</p> <p>【8年度予定】 邦楽公演(地域創造助成)、古典芸能の体験、落語アウトリーチほか</p> <p>【会場】 くすのきホール（文化会館たづくり2階） 和室（文化会館たづくり10階） 市内小学校 ほか</p> <p>【集客戦略】 子どもや若い世代が古典芸能に親しみやすい場を継続的に提供し、日本の芸能全般に関心を持ちやすい環境を創出していく。</p>	約4回	1,335
協定・提携事業	<p>【目的】 文化芸術に携わる団体等と、事業を共に実施することで、市民に身近で気軽に良質な文化芸術体験を提供し、文化芸術の普及、振興を行う。</p> <p>【内容】 市ゆかりの芸術団体等と協定を締結し、年間を通して公演や公開リハーサルなどを実施する。また、当財団の自主事業の企画意図に沿うもの、当財団の自主事業を補完するための事業を、民間事業者、芸術団体等と提携して実施する。</p> <p>【費用】 有料。一部無料</p> <p>【8年度予定】 ・協定事業 バッハ・コレギウム・ジャパン公開リハーサル ・提携事業 調布市民歌舞伎 キッズ伝統芸能体験教室 ほか</p> <p>【会場】 くすのきホール（文化会館たづくり2階）ほか</p> <p>【集客戦略】 ・地域の人材を活用した公開リハーサル等を定例的に実施し、芸術に親しむ機会をより身近なものとする。 ・バックステージツアーなどで、事業への関心を高める。 ・提携事業では、認知度、信頼度が高い提携先と協力して広報・宣伝を行うことで、幅広い層へ事業を周知する。</p>	約3回	-

	・民間事業者が募集を行う企画の中から、市民ニーズの高い内容の事業を積極的に誘致する。	
--	--	--

カ 施設管理運営（公1-10）

定款第4条	（7）受託する施設の管理運営、（8）その他		
事業名	目的・内容等	回数等	予算額（千円）
文化会館たづくり施設管理運営	<p>【目的】 市民の文化芸術の振興を図る。</p> <p>【内容】 文化会館たづくり条例、同条例施行規則に基づき、施設貸出しを行う。施設の安全性と快適性を基調に、利用者のニーズを速やかに反映できる弾力的な施設貸出と維持管理を行う。 また、利用者が気軽に文化芸術に触れる機会を提供する。</p> <p>【費用】 指定管理者の基本協定に基づき、文化会館たづくり条例に規定されている金額を上限とした施設利用料金及び附帯設備利用料金等</p> <p>【8年度予定】 施設利用者アンケートにより満足度の向上を図る。 目標総合満足度 95% エレベーターホール・アートプロジェクト（パラアート展受賞作品） 空き施設活用事業（ピアノ体験事業）</p>	通年	580,836
施設運営に関する事業	<p>【目的】 弾力的な施設の利活用を行うとともに、利用者の利便性の向上を図り、施設利用に付随したサービスを提供する。</p> <p>【内容】 文化会館たづくり1階・2階・7階・8階・10階・12階、グリーンホール1階・2階、せんがわ劇場3階への飲料自販機の設置 文化会館たづくり、グリーンホール、せんがわ劇場で実施される各公演（音楽鑑賞、芸術鑑賞）の預かりチケットの販売 公演、展示の資料販売（CD、書籍等） 文化会館たづくり地下1階、地下2階の駐車場運営 文化会館たづくり1階コインロッカー貸出し 文化会館たづくり7階コピー機サービス</p>	通年	
施設管理業務	<p>【内容】 文化会館たづくり館内施設のうち、調布市から行政財産使用許可を得て、他団体等が使用している部分と、調布市が使用している東館11階及び西館全体の行政使用部分の施設管理業務</p>	通年	
図書館の施設管理業務（受託）	<p>【目的】 図書館の適切な管理</p> <p>【内容】 電気、機械、空調設備等の施設及びこれに附帯する設備の操作、維持管理保全や清掃、警備、施設、設備の軽微な補修、施設運営の維持経費である公共料金の支払を行う。</p>	通年	79,971

(3) グリーンホール事業（指定管理事業）

ア 映像文化・メディア芸術事業（公1-1）

定款第4条	（1）文化芸術の振興事業、（4）生涯学習事業、（8）その他		
事業名	目的・内容等	回数等	予算額（千円）

無声映画上映会 (映画のまち調布 シネマフェスティ バル関連企画)	<p>【目的】 「映画のまち調布」を推進するため、市における映画の歴史及び映像文化に親しむ機会を提供し、地元で根ざした文化芸術の振興を図る。 また、良質な映画を提供することで、鑑賞機会の拡大と映像文化の継承を図る。</p> <p>【内容】 活動弁士・生演奏付きの上映会と関連した講座を実施する。また、関連した座学も実施する。</p> <p>【費用】 一般1,500円 U29 500円</p> <p>【会場】 グリーンホール小ホール</p> <p>【集客戦略】 「映画のまち調布 シネマフェスティバル」の関連企画として実施し、相乗効果のある広報を行うとともに、シニア層のみならず、若い世代へも情報が届くよう、SNSでのPRにも注力する。</p>	1 事業	997
--	--	------	-----

イ 芸術振興事業（公1-8）

定款第4条 事業名	(1) 文化芸術の振興事業、(8) その他 目的・内容等	回数等	予算額(千円)
音楽事業	<p>【目的】 市民が身近で気軽に良質な音楽事業に触れる機会を提供し、文化芸術の普及、振興を行う。 また、劇場外で実施する表現活動を通して、次世代を担う子どもたちが生涯を通じて舞台芸術に親しみ、舞台芸術と触れ合う機会を提供する。</p> <p>【内容】 鑑賞事業では、音楽祭とのつながりも意識しながら、多彩で良質な事業を実施し、親しみやすく、誰もが文化芸術に触れることができる場を提供する。また、市内の支援学校とも連携し、子どものうちから気軽に芸術に親しみやすい場を提供し共生社会を推進する。 普及啓発事業では、ホールを無料開放して誰でも参加できる体験プログラムを実施し、舞台芸術に対する市民の関心を高める。 育成事業では、アウトリーチができる演奏家を養成するプログラムを実施し、地域への音楽事業の普及につなげる。</p> <p>【費用】 入場料は参加しやすい価格設定とする。 アウトリーチ・インリーチ事業の参加費は無料とする。</p> <p>【8年度予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞を主とする事業 大型音楽コンサート クリスマスコンサート ・普及啓発事業 ホール体験プログラム アウトリーチ事業 インリーチ事業 ・育成事業 アウトリーチ人材育成プログラム <p>【会場】 グリーンホールほか</p>	5 回	23,361

	<p>【集客戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽祭出演者や桐朋学園など協定関係を活用し、地元にはゆかりの演奏家を起用する。 ・丁寧な事業紹介により、公演来場者の市内率向上を図る。 ・市内の学校と連携して事業を実施することによって、より多くの市民の来場を促す。 ・普及啓発事業を通して、市民が関心を寄せ、共に育む劇場づくりを目指す。 		
演劇舞踊古典事業	<p>【目的】</p> <p>市民が身近で気軽に良質な演劇舞踊古典事業に触れる機会を提供し、文化芸術の普及、振興を行う。</p> <p>【内容】</p> <p>伝統芸能等による日本の魅力の再発見や、初めての舞台鑑賞での心躍る感動、豊かな情操を養う機会を提供する。古典伝統分野では解説付きとして初心者にも参加しやすいよう実施するほか、障害者や外国人のアクセシビリティ向上のため、各事業で鑑賞サポートを行う。</p> <p>【費用】</p> <p>入場料は参加しやすい価格設定とする。</p> <p>【8年度予定】</p> <p>能・狂言公演、落語公演、体験ワークショップ、アウトリーチ、生涯学習講座等 インクルーシブ創作ダンスワークショップ、ファシリテーター養成講座 児童向け演劇（児童劇鑑賞教室）</p> <p>【会場】</p> <p>グリーンホール</p> <p>【集客戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもや若い世代が古典芸能に親しみやすい場を継続的に提供し、日本の芸能全般に関心を持ちやすい環境を創出していく。 ・障害者、外国人のアクセシビリティ向上のため字幕、手話通訳などの鑑賞サポートを提供し、劇場に親しむ機会を増やしていく。 ・インクルーシブ創作ダンスは広域的な視野で参加者を募るとともに、ファシリテーター養成講座を東京・神奈川の他館と連携して実施する。 ・児童劇鑑賞教室は、子育てポータルサイトと連携し、効果的な運営体制と情報伝達を実施する。 	約9回	7,533
協定・提携事業	<p>【目的】</p> <p>市民に身近で気軽に良質な文化芸術体験を提供し、文化芸術の普及、振興を行う。</p> <p>【内容】</p> <p>市ゆかりの芸術団体等と協定を締結し、年間を通して公演や公開リハーサルなどを実施する。当財団の主催事業の企画意図に沿うもの、自主事業を補完することのできるものを民間事業者等と提携して実施する。</p> <p>【費用】</p> <p>有料（一部無料）</p> <p>【8年度予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協定事業 バッハ・コレギウム・ジャパン公開リハーサル 桐朋学園オーケストラ グリーンホール定期 ・提携事業 オーケストラ公演 ポピュラー歌手公演 バレエ公演 落語公演 ほか 	約13回	-

	<p>【会場】 グリーンホール</p> <p>【集客戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人材を活用した公開リハーサル等を定例的に実施し、芸術に親しむ機会をより身近なものとする。 ・提携事業では、幅広く多様化した市民ニーズを踏まえた事業を積極的に誘致し、提携先と協力しながら広報宣伝を行う。 		
--	---	--	--

ウ 施設管理運営（公1-10）

定款第4条	(7) 受託する施設の管理運営、(8) その他		
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)
グリーンホール施設管理運営	<p>【目的】 市民の文化芸術の振興を図る。</p> <p>【内容】 グリーンホール条例、同条例施行規則に基づき、施設貸出しを行う。施設の安全性と快適性を基調に、利用者のニーズを速やかに反映できる弾力的な施設貸出と維持管理を行う。</p> <p>【費用】 指定管理者基本協定に基づき、グリーンホール条例に規定されている金額を上限とした施設利用料金及び附帯設備利用料金等</p> <p>【8年度予定】 施設利用者アンケートにより満足度の向上を図る。 目標総合満足度 95%</p>	通年	191,436

(4) せんがわ劇場（指定管理事業・受託事業）
ア 芸術振興事業（公1-8）

定款第4条	(1) 文化芸術の振興事業、(8) その他		
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)
音楽事業	<p>【目的】 市民が身近で気軽に良質な音楽事業に触れる機会を提供し、文化芸術の普及、振興を行う。</p> <p>【内容】 文化芸術の裾野拡大のために、鑑賞者の多様化や生活スタイルの変化を踏まえ、誰もが文化芸術に触れることができる場を提供するための事業を実施する。</p> <p>【費用】 入場料は参加しやすい価格設定とする。</p> <p>【8年度予定】 子ども向けコンサート</p> <p>【会場】 せんがわ劇場</p> <p>【集客戦略】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模で客席と一体感のあるホールの性質を活用し、子どものうちから音楽を楽しむ新たな機会を創出する。 	1回	598
演劇事業	<p>【目的】 地域の文化芸術をけん引する、質の高い舞台芸術作品を創造・発信する。 市民が身近で気軽に演劇事業に触れる機会を提供し、文化芸術の普及、振興を行う。 また、劇場外で実施する演劇的身体表現や表現活動を通して、次世代を担う子どもたちが生涯にわたり舞台芸術に親しみ、触れ合える体験の機会を提供する。</p>		

【内容】

- ・芸術監督や気鋭の若手劇作家・演出家が創作を手掛ける、創造性の高い良質な演劇公演を実施する。
- ・文化芸術の裾野拡大のため、誰もが文化芸術に触れることができる事業を実施する。
- ・次世代の舞台芸術活動者の発掘や成長につながるよう、発表機会の提供や専門家からの助言を得ることが出来る事業を実施する。
- ・演劇に関する学習の場を提供し、市民自らが文化を創造する契機とすることで、調布市における文化芸術の振興を図る。
- ・仙川地域の商店街や学術機関と連携し、それぞれの特徴を生かした相互に効果的な事業展開を図ることで、舞台芸術を通して地域の活性化に寄与する。
- ・市内各施設に舞台実演家を派遣し、コミュニケーションスキルの向上など、ニーズに合わせた演劇プログラムや鑑賞型ワークショップを実施する。

【費用】

入場料は参加しやすい価格設定とする。
アウトリーチ事業の参加費は原則無料とする。

【8年度予定】

- ・鑑賞を主とする事業
 - せんがわ劇場演劇コンクール受賞公演
 - 芸術監督公演
 - 若手劇作家・演出家を起用する公演
 - 実演家との共同制作による公演
 - クリスマス公演
 - ワークショップ付演劇公演
- ・市民参加型事業
 - せんがわ劇場演劇コンクール
- ・生涯学習事業
- ・アウトリーチ事業
 - 第七中学校、第七中学校はしうち教室、神代中学校、調布中学校、白百合女子大学りすぶらん・あんふあん、教育支援センター太陽の子、教育支援センターCANVAS、母子生活支援施設、児童養護施設、市内児童館 ほか

【会場】

せんがわ劇場
市内小中学校 ほか

【連携先等】

白百合女子大学
桐朋学園芸術短期大学
市立中学校
市立児童館
仙川商店街協同組合

【集客戦略】

- ・市内学校等と連携して事業を実施し、より多くの市民の事業参加を促す。
- ・普及啓発を目的とした事業を通して、市民が舞台芸術や劇場に関心を寄せ、劇場と共に地域文化を育む土壌を醸成する。
- ・鑑賞を主とする事業で関連企画を実施し、演劇愛好者以外に向けて公演を訴求する。
- ・障害者、在住外国人のアクセシビリティ向上のため、鑑賞サポートを実施し、あらゆる市民が劇場に親しむ機会を増やす。

イ 施設管理運営（公1-10）

定款第4条	(7) 受託する施設の管理運営、(8) その他		
事業名	目的・内容等	回数等	予算額(千円)
せんがわ劇場施設 管理運営	<p>【目的】 市民の文化芸術の振興を図る。</p> <p>【内容】 せんがわ劇場条例、同条例施行規則に基づき、施設貸出しを行う。施設の安全性と快適性を基調に、利用者のニーズを速やかに反映できる弾力的な施設貸出と維持管理を行う。</p> <p>【費用】 指定管理者の基本協定に基づき、せんがわ劇場条例に規定されている施設利用料金及び附帯設備利用料金等</p> <p>【8年度予定】 施設利用者アンケートにより満足度の向上を図る。 目標総合満足度 95%</p>	通年	63,499